

# ずいそう



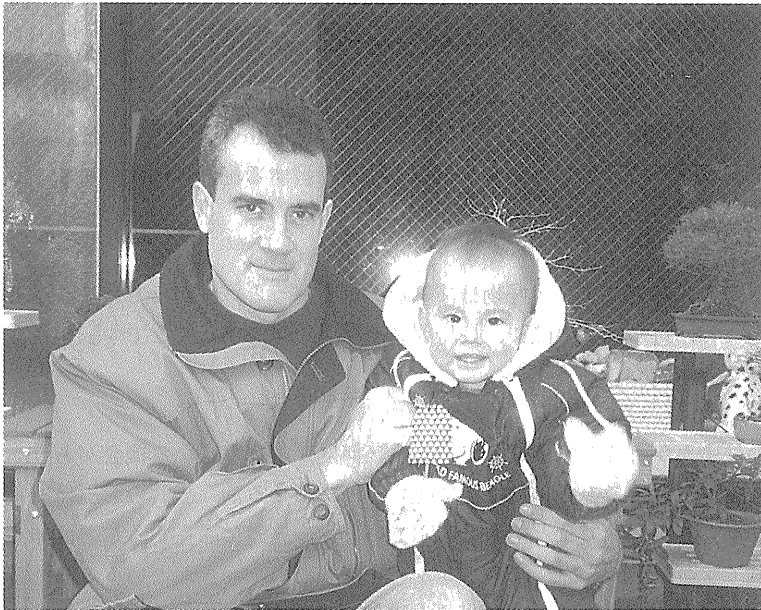
## 日本の好きなところ

J.W. Johnson

日本に来てから3年余り経ちますが、よく聞かれる質問に、「日本の生活様式について、どう思いますか？」また、「日本で何が一番好きですか？」があります。アメリカ中部の小さな町で育ったので、小さな町の生活の穏やかな環境を楽しんで来ました。色々な意味で、東京での生活は、アメリカの田舎での生活とそんなに違いはない、と述べると、皆驚きます。もちろん、大きな違いはあります。例えば、東京の電車は混雑していますし、交通渋滞もあります。また、多種多様な店やレストランもあり、世界の主要都市に付き物の事柄は何でもあります。しかし、今回は私が東京を心から故郷のように感じる事、つまり東京での生活における、小さな楽しみのいくつかに目を向けてみたいと思います。

1日のうちで、私が一番好きな時間帯はいつも早朝であり、また私が東京を探索したいと思う時です。私は大抵、1日を散歩で始めることを日課にしています。時々、赤ん坊の息子をバギーに乗せて散歩しますし、元気がある時は、ジョギングをします。朝の静かな時に近所を探索するのがとても好きです。それは、歩いている人がほとんどいない、いるとしても新聞配達の人や「燃えるゴミの日」にはカラスを見かけるくらいです。私は、素敵な散歩道が多くある目黒区に住んでいます。その小道には古い桜の木が立ち並んでいます。春にとっても美しいのはもちろんのこと、夏にはありがたい木陰を与えてくれます。その後、秋にはつかの間、葉っぱを赤や黄色に染め、その後、おつかれさまの冬眠をします。東京の穏やかな気候により、多くの住民が素晴らしい多種多様な植物を植えることができます。東京では、何かがいつも咲いている、もしくは何かの植物が目にとまるように思います。私はこのエッセイを12月半ばに執筆していますが、葉っぱのない木に柿がぶら下がっていますし、ピラカンサスは赤い実をつけ、垣根には名前が分からない花が咲いています。

私は、数多くの素晴らしい盆栽を見て、感心しています。この小さな木々は、忍耐は報われるということを示しています。時間とほんの少しのノウハウで、たいていの人には傑作を創り出すことが出来るのです。私自身、盆栽を試みており、とても楽しんでます。もっとも、私の盆栽たちは、私の日本語と同じように、前途遼遠であります。



もうひとつの冬のごほうびは、朝にはよく、富士山を目にすることが出来ることです。冬の東京は、概して空気が澄み、凜としており、空は深い青色です。富士山を見ることの出来る、私の「テリトリー」である場所がいくつかあります。一番気に入っているのは大岡山です。そこは遮る物のない眺めを与えてくれる為にあるような町です。富士山を見飽きることはありませんし、いつの日か、運良く富士山頂から日の出を見たいと望んでいます。

しかし、今は高いところから地上へと目を向けて、私の朝の散歩についてお話ししましょう。時々、私は駒沢公園や他の公園を走り抜けますが、そこで人々が集団でラジオ体操をしているのを目にします。皆がラジオに合わせて、同じような動きをします。ラジオ体操は、一日を始めるにあたり、素晴らしい方法のようです。

最も魅力的な光景の一つは、人々が家や店の外を伝統的な竹ぼうきで掃いている姿です。その人たちは東京をとてきれいな都市に保つよう貢献しているのです。私たちはその奉仕に感謝しています。沢山の人が犬の散歩をしているのを見かけます。アメリカでは、雑種犬を良く見かけますが、ここ日本では、犬は全て純血に見え、また、そのそれぞれの種を良く代表しています。犬たちは、自分の長きにわたる伝統を誇りに思い、気取って歩いているようです。

東京では、大抵の人は考え深げに無言で歩き、ごくたまに朝の挨拶を交すだけです。もちろん、赤ん坊の息子を連れて散歩している日は、状況はかなり異なります。人々はわざわざにこりと微笑んで、こんにちは、と言ったり、赤ん坊について何か述べたりします。私の息子は注目を浴びるのが大好きで、ちっとも恥ずかしがり屋ではありません。あまりにも良く耳にするので、息子は自分の名前を「かわいい」だと思っているに違いありません。

もちろん、朝の散歩以外にも、日本について好きな事柄はまだあります。店やレストランに入った時に店員が挨拶をすること、また立ち去る時に、その店を利用したことに対して、たとえ商品を眺める為だけに時間を費やしたとしても、店員は礼を述べます。職場では、仕事の後の公的、また私的な集まり（そうした集まりは日本語を練習する絶好のチャンスです）により絆が強まる、家族的な雰囲気が気に入っています。

日本食はほとんど何でも大好きです。大好物は「納豆」だと言うと、同僚たちは私をからかいます。最も難しいことは、打ち上げの際に、長時間にわたり正座をすることです。年を取ってきたので、体のあちこちが固くなりました。

日本の田舎、とりわけ山々がとても気に入っています。何度か山登りをする機会があり、大いに楽しみました。終着点が温泉である場合は特にです。日本に来る前、公共のお風呂に入ったことなどありませんでしたが、今ではとても楽しんでます。旅館に滞在することは非常に文化的で、楽しい経験ですが、いつも自分用のスリッパを持っていくべきだということを学びました。32センチの足にあうようなスリッパを備えた旅館はほとんどないからです。相撲の大ファンでもあり、何度か「場所」に足を運んだこともあります。

日本について理解できないことはまだまだ多くあります（パチンコが主な疑問点です）が、もっと時間が経てば、これらの点も明確になるかも知れません。

どの場所でも同じように、日本で一番重要な要素はその人々です。日本の皆さんは圧倒されるほど私に対して親切で、かつ、寛大であると、心から言えます。日本の社会は素晴らしい社会であると確信していますし、この国に住む機会が与えられたことを、大変嬉しく思っています。

——ジョン・W・ジョンソン 新キャタピラー三菱株式会社特販部長——